



令和7年度 全国高校生体験活動顕彰制度「地域探究プログラム」

「地域探究オリエンテーション合宿 in 能登チャレンジ」実施要項

テーマ「農業から見つける探究」

1. 趣 旨

高校生が、地域づくりや地域の課題解決などに関する体験活動を通して、問題発見・解決能力を身に付け、新たな価値を創造する人材育成に資するとともに、それぞれの実践活動の成果や自身の成長を適切に評価し、青少年の体験活動に関わる社会的な認知を高めることを目的とする。



2. 主 催 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立能登青少年交流の家

3. 期 日 令和7年7月19日(土)～21日(月祝)2泊3日

4. 場 所 国立能登青少年交流の家

5. 参 加 者 石川県内在住の高校生又はそれに相応する学籍・年齢に当たる方 10名

6. 講 師 邑知公民館 神子原分館 館長 平井 正信 氏
有機農家 屋後 浩幸 氏
羽咋市菅池町 元 町会長 中山 勇晴 氏

7. 参 加 費 1人 7,000円(食事代、施設使用料、保険料、資料代等)

8. 日 程

時間	7月19日(土)	7月20日(日)	7月21日(月祝)
8:30～ 9:00	受 付		
9:00～ 9:50	ガイダンス①-1 (開会式・アイスブレイク含む)	フィールドワーク② 「地域課題の探究」 ※屋後 浩幸 氏 ※中山 勇晴 氏 <昼食も含む>	講義・演習④-1 「行動計画の基礎」
10:00～ 10:50	ガイダンス①-2 「学びの導入」		
11:00～ 11:50	講話 「地域づくりの実践」 ※平井 正信 氏		講義・演習④-2 「行動計画の基礎」
12:00～ 13:00	フィールドワーク①-1 「地域の魅力を発見」 屋後 浩幸 氏 中山 勇晴 氏 <昼食も含む>		<昼 食>
13:00～ 14:50			発表② (個人発表)
			ガイダンス (閉会式含む)
15:00～ 15:50	講義・演習① 「地域理解」	講義・演習③ 「地域課題の探究」	
16:00～ 16:50	講義・演習②-1 「課題解決の基礎」		
17:00～ 17:50	講義・演習②-2 「課題解決の基礎」		
18:00～ 18:50	<夕 食>	<夕 食>	
19:00～ 20:50	講義・演習②-3 「課題解決の基礎」	発表① (グループ発表)	

○7月19日(土)

◆ガイダンス①-1(開会式・アイスブレイク含む 9:00~9:50 1単位時間)

【講師】能登青少年交流の家 職員

⇒ 全国高校生体験活動顕彰制度「地域探究プログラム」の説明を行うとともに、オリエンテーション合宿のスケジュールおよびフィールド先の取組について確認する。

◆ガイダンス①-2「学びの導入」 10:00~10:50 1単位時間)

【講師】能登青少年交流の家 職員

⇒ 「地域探究プログラムへ参加したのはなぜか」「何を知りたいのか、気付きたいのか」「本事業を通して自分がどうなりたいたいのか」を問い直し、学びに向かうとともに、グループで共有する。

◆講話「地域づくりの実践」(11:00~11:50 1単位時間)

【講師】平井 正信 氏(邑知公民館 神子原分館 館長)

⇒ 石川県羽咋市神子原地区で、地域を元気にする活動に力を注いでいる。現在は、地域の交流や文化を支える「邑知公民館 神子原分館」の館長を務めている。過疎化が進む神子原地区や菅池町を、もっとにぎやかで魅力ある場所にしたいという思いから、2023年に民泊で地域の魅力を発信する有志のプロジェクトチーム「神宿(かみやどり)」の立ち上げに携わった。

また、平井氏は移住者の相談にも親身になって対応し、県外から来た人たちが安心して暮らせるようにサポートを行っている。「地域を未来へつなげたい」という熱い思いで、神子原地区や菅池町の魅力を発信し続けている。

羽咋市では、様々な分野で地域振興を志す若者を支援することにより、職務への従事のみならず、移住・定住につながった好事例がある。一方で、地域振興を志すも、羽咋市を短期間で離れてしまった若者もいる。地域づくりの実践に携わる講師の思いを知ることにより、それぞれが感じている地域にはどんな問題があるのかを探る。

◆フィールドワーク①「地域の魅力を発見」(12:00~14:50 3単位時間)

【講師】屋後 浩幸 氏(有機農家)

⇒ 大阪で生まれ、広島で育った屋後氏は、インドを訪れた際に食の大切さに気づき「いつか農業をやってみよう」と考える。空気と水がきれいな場所で農業をしたいという思いから、石川県羽咋市へ移住する。2008年から羽咋市の小さな集落「神子原(みこはら)」で本格的に農業をスタートする。現在はその土地や気候に合った作物を30~40種類ほどにしぼり、こだわりの有機野菜を育てている。

屋後氏の農業は、農薬も化学肥料も使わず、市販の有機肥料にも頼らない「自然の力を活かした」スタイルである。健康や環境にやさしい農業を大切におり、金沢や大阪など、食にこだわるお客さんから引き合いがある。海外で農業支援に関わった経験もあり、「より安全で安心できる野菜を届けたい」という気持ちで、日々畑と向き合っている。

そんな農業活動の魅力を発見するとともに、どんな目的でどんな人たちが協力して実践しているのかを考える機会とする。

【講師】中山 勇晴 氏(元菅池町町会長/羽咋市菅池町在住)

⇒ 石川県宝達志水町出身である中山氏は、長年にわたり地元で根ざした暮らしを続けてきた。ご結婚を機に、妻の出身地である菅池町へ移住する。以降、60歳まで兼業農家として神子原地区で稲作に励まれ、地域農業の一翼を担ってきた。

平成18年には町会長として地域のまとめ役を務め、特に移住者の受け入れ支援に尽力した。その人柄と行動力は、平成20年に屋後氏が移住してきた際にも発揮され、移住者の立場に寄り添った温かい支援を惜しまず行う。

中山氏は、移住者の思いや夢を実現するためには、「菅池町の住民との関係づくりが何よりも大切である」と語り、常にその橋渡し役を務めてきた。新しくこの地に移住する方が安心して暮らせるよう、地域に根差した支援を快く引き受けてこられたその姿勢は、今も多くの方の信頼を集めている。

そんな地域住民からの目線で、県外から移住してきた方々への期待や思い、地域を盛り立てるために必要なことについてどのように協力し実践しているのかを考える機会とする。

◆講義・演習①「地域理解」(15:00~15:50 1単位時間)

【講師】能登青少年交流の家 職員

⇒フィールドワーク①, 講義・演習①-1で得た気づきや発見を、それぞれが感じている地域の課題解決に生かすことができるか個で考え、グループで共有する。それとともに、見聞きし、体験を通した課題設定をすることで、それぞれの地域の課題解決への理解をより深める。

◆講義・演習②-1~3「課題解決の基礎」(16:00~17:50 19:00~20:50 計3単位時間)

【講師】能登青少年交流の家 職員

⇒フィールドワーク①を踏まえ、参加者個人が感じるそれぞれの地域の魅力や課題を基に、自ら立てた地域の課題解決について仮説を立てる。翌日のフィールドワーク②に向け、仮説を検証するための質問や手立てをまず個で考え、次にグループで共有することで、それぞれの地域の課題解決に向けた課題設定を行う。

○7月20日(日)

◆フィールドワーク②「地域課題の探究」(9:00~14:50 5単位時間)

【講師】屋後 浩幸 氏(有機農家)

中山 勇晴(元菅池町町会長/羽咋市菅池町在住)

⇒講義・演習②で立てた一人一人の仮説をグループで検証するため、フィールドワーク先でインタビューを行う。それぞれの地域の課題解決につながる疑問点について質疑を行い、情報を収集するとともに、持続可能で、より有効な解決策を探る。

◆講義・演習③「地域課題の探究」(15:00~17:50 3単位時間)

【講師】能登青少年交流の家 職員

⇒フィールドワーク②での検証を踏まえ、参加者が互いの良さを生かしながら多面的・多角的に考察し、最も持続可能で効果の上がると判断した解決策を整理・分析し、まとめ・表現(発表①グループ発表)の準備を行う。

◆発表①「グループ発表」(19:00~20:50 2単位時間)

【講師】能登青少年交流の家 職員

⇒講義・演習③までの学びを活かし、根拠(事実)と理由を踏まえ、最も持続可能で効果の上がると判断した解決策について、発表を行う。

○7月21日(月祝)

◆講義・演習④-1,2「行動計画の基礎」(9:00~11:50 3単位時間)

⇒各自が考えてきた地元の地域の課題や行動計画(仮説を含む)をグループ内で共有し、仮説に基づく行動計画の実践に向けて意見交流を行う。まとめ・表現(発表②個人発表)の準備を行う。

【指導】能登青少年交流の家 職員

◆発表②「個人発表」(13:00~13:50 1単位時間)

⇒参加者が個人発表(振り返り、今後の実践発表の展望)を行い、着眼点や行動計画の良さ、改善点、今後の展望について全体で共有する。

【指導】能登青少年交流の家 職員

◆実践活動のためのガイダンス(閉講式を含む)(14:00~14:50 1単位時間)

⇒実践活動を実施する上での安全管理や社会のルール・マナーを理解する。

【指導】能登青少年交流の家 職員

9. 申込方法・受付期間

(1) 申し込み方法: 当施設ホームページ掲載の「申込フォーム」より申し込みを受け付ける。

申込フォーム URL⇒<https://forms.office.com/r/M2IMs0aZfD>



(QRコード)

(2) 受付期間: 令和7年6月13日(金)～6月27日(金) ※応募者多数の場合は先着順とする。

11. その他

(1) 当落及び当日の詳細な内容は、参加決定後(事業2週間前)にメールでご案内します。

(2) 参加決定後、参加できない事態が発生した場合は速やかにご連絡ください。参加確認(事業1週間前)以降のキャンセルは、食事代の材料費相当分のキャンセル料をいただきます。

(3) 天候等により、事業中止又は活動内容等が変更となる場合もございます。ご了承ください。

12. 審査会等日程(令和7年度)

(1) 実践活動及び報告書作成(オリエンテーション合宿参加者のうち、希望者)

・令和7年8月～11月 報告書提出締切 11月30日(日)

(2) 能登ステージ

・令和7年12月6日(土)～7日(日)(会場: 国立能登青少年交流の家)

☆令和6年度【参加校: 石川県立鶴来高等学校、石川県立羽咋高等学校】

(3) 地方ステージ

・令和7年1月10日(土)～11日(日)(会場: 国立乗鞍青少年自然の家)

☆令和6年度【個人の部(代表): 竹本 ちえり(石川県立鶴来高等学校)】

【学校団体の部】(代表): 岐阜県私立高山西高校】

(4) 全国ステージ

・令和7年2月7日(土)(会場: 国立オリンピック記念青少年総合センター)

☆令和6年度【個人の部(金賞): 竹本ちえり(石川県立鶴来高等学校)】

◆問 合 せ 先 国立能登青少年交流の家 担当 魚川・須田

〒925-8530 石川県羽咋市柴垣町14-5-6

TEL 0767-22-3121 / FAX 0767-22-3125

E-mail noto@niye.go.jp